

患者さまへ

「大腸ステント留置術の臨床成績および長期予後の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開し、拒否できる機会を保障することが必要とされています。

| | |
|---------------|---|
| 1 研究の対象 | 2017年4月1日から2030年3月31日までの期間に、当院消化器内科において閉塞性大腸癌(大腸癌によって腸が閉塞した状態)に対して大腸ステント留置術を受けた/受ける患者さま。 |
| 2 研究目的・方法 | 閉塞性大腸癌に対してステントを留置する治療法は、有用な治療法として広く行われています。しかし、留置するステントの種類によって治療経過やその後の経過にどのような違いが出るかは、まだ詳しく分かっていません。本研究では、閉塞性大腸癌に対して大腸ステント留置術を受けた患者さまの診療情報を用いて、ステントの違いによる治療成績および予後について検討します。 研究の期間:施設院長許可後(2026年4月予定) ~ 2031年3月31日 |
| 3 情報の利用拒否 | 情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。 |
| 4 研究に用いる情報の種類 | 年齢、性別、身長、体重、入院時の生活の質(ADL)、初診日、診断日、既往歴、家族歴、大腸ステントに関する情報(施行日、ステント径、ステント長、ステント種類、治療成績など)等 |
| 5 個人情報の取扱い | 収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。 |
| 6 お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者:地主龍平 東京西徳洲会病院・消化器内科、内視鏡副センター長 住所:〒196-0003 東京都昭島市松原町3-1-1 連絡先:042-500-4433(病院代表) |